



社 名	株式会社 鳥羽洋行 (英文表記 TOBA,INC.)
本 社	東京都文京区水道二丁目8番6号
設 立	1949年12月14日 (創業：1906年9月15日)
資 本 金	11億4,800万円
事業内容	制御機器、産業用ロボット、計測計装機器、コンピューター、電子機器、搬送機器、建設・管工機器、ファスナー、環境整備機器、機械工具、工作機械、理化学機器、医療用機器、薬品類、ガラス関連建材、室内装飾用品等の販売、レンタル、リース及び輸出入。 上記に関する生産設備効率化のためのコンサルティング。 機械工具器具とその部品類の加工販売、レンタル、リース及び輸出入。 古物売買業。
従業員数	連結 266名／単体 228名 (嘱託社員を除く) (2025年9月30日現在)

事 業 年 度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定 時 株 主 総 会	毎年6月
基 準 日	3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
配 当 金 受 領 株 主 確 定 日	3月31日 中間配当を行う場合は、9月30日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 [電話照会先]	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
単 元 株 式 数	100株
公 告 方 法	電子公告により行います。 ( <a href="https://www.toba.co.jp/">https://www.toba.co.jp/</a> ) ただし、やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

Interim Business Report 2025

第77期 中間報告書

2025.4.1 ▶ 2025.9.30

百年の信頼を未来につなげる

 株式会社 鳥羽洋行

証券コード：7472



2025年12月

代表取締役社長

遠藤 稔

平素は、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第77期中間期(2025年4月1日から2025年9月30日まで)のご報告にあたり、ご挨拶申し上げます。

当中間期における日本経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加等を背景に緩やかな回復を示しました。しかしながら、世界経済に目を向けますと、インフレの長期化懸念や金融市場の変動に加え、米国の関税政策をはじめとする保護主義的な動きが、国際的なサプライチェーンの混乱を招いており、先行きについては不透明な状況が継続しています。

このような経済環境下における当社グループの国内販売は、米国の関税政策による影響や世界的なEV市場の低迷を受け、自動車関連企業を中心に設備投資を控える動きが見られ、自動車・車載部品関連の得意先への販売は前年同期を下回る結果となりました。一方、半導体関連においては、メモリ半導体の在庫調整局面は継続していたものの、生成AIの普及に伴うデータセンターの拡張は旺盛であり、高性能半導体(AI半導体)の需要拡大が継続しました。これにより、半導体製造装置に関連する得意先への販売は堅調に推移しました。

海外販売につきましては、中国経済の低迷は継続しているものの、各種デバイス向け電子部品に関連する得意先への産業用ロボットの販売が好調に推移しました。

以上の結果、売上高は144億21百万円(前年同期比1.7%増)、営業利益は7億49百万円(前年同期比13.2%増)、経常利益は8億2百万円(前年同期比10.1%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は5億58百万円(前年同期比13.1%増)となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 制御機器 生産工場の構成には欠かせない

### 売上高39億87百万円

制御機器は、空気圧機器、電子センサー、圧力センサー、流体継手、真空機器、緩衝器等で構成されており、主としてデジタル機器、半導体及び半導体・液晶製造装置、基板実装機、自動車・車載部品、工作機械等を製造する得意先へ販売しております。

当中間期におきましては、各種デバイス等に搭載されるメモリ半導体は在庫調整局面を脱していないものの、高性能半導体（AI半導体）の需要は好調に推移し、半導体製造装置に関連する得意先向けへの空気圧機器の販売が伸びました。また、前期より継続しております製造業の国内回帰の影響により、精密機器に関連する得意先からの受注は好調に推移しました。

以上により制御機器全体の売上高は前年同期を上回る39億87百万円（前年同期比0.4%増）となりました。



## FA機器 工場の自動化・コストダウンを実現

### 売上高70億59百万円

FA機器は、産業用ロボット、自動組立機、表面実装システム、レーザー加工機、精密塗布装置等で構成されており、主としてデジタル機器、自動車・車載部品、半導体及び半導体・液晶製造装置、OA機器、医療機器等を製造する得意先へ販売しております。

当中間期におきましては、国内の自動車生産台数は回復傾向に推移しているものの、米国の関税政策の影響による設備投資の停止などにより、自動車・車載部品に関連する得意先への産業用ロボットやマウンター（表面実装機）等の販売は、前年同期を下回りました。

一方で、中国市場においては、各種デバイス向け電子部品に関連する得意先への産業用ロボットの販売が好調に推移し、前年同期を上回る結果となりました。

以上によりFA機器全体の売上高は前年同期を若干下回る70億59百万円（前年同期比0.2%減）となりました。



## 新規取扱い商品情報

当社は、ソフトバンクロボティクス社の自動搬送ロボット（AMR）「PUDU T300」等を新規取扱い商品としてラインナップに追加しました。

本製品は、多数のセンサーと360°障害物回避性能により、今まで走行できなかった狭い通路や特定の目的地へ搬送することができ、昨今、ファミリーレストラン等の外食産業において、配膳ロボットが活躍しておりますが、モノづくりの業界での需要も非常に高まっております。

当社では、配膳ロボットから積載重量300kgの「PUDU T300」まで取り揃えており、お取引先様のニーズに応え、各種DXソリューション推進の拡大と人手不足の改善をサポートしています。

### PUDU T300



©Pudu Technology Inc. | SoftBank Robotics

## 展示会出展のご報告

2025年7月23日～25日

第5回 スマート工場内の搬送系および協働ロボット利活用展  
場所：東京ビッグサイト 当社ブース来場者数：1,964名

2025年10月1日～3日

第28回 機械要素技術展 大阪  
場所：インテックス大阪 当社ブース来場者数：2,535名

本年におきましても上記展示会へ出展いたしました。当社の取扱い商材や今後の注力商品をデモ機実演とともに紹介し、商談を実施いたしました。各展示会では、まだ取引口座のない大手優良企業の方々も多数来場していただき、具体的な引き合いも多数いただいております。

現在、営業部門においてご来場いただいた方々へのフォロー活動を実施し、今後の取り引き拡大へ努めております。

今後も大型展示会に出展し、売上規模拡大や新規顧客開拓に取り組み、TOBAブランドの強化・企業価値の向上を目指します。



当社ブースの様子

## 産業機器 生産組立て作業に使用されている

### 売上高33億75百万円

産業機器は、電動ドライバー、アルミフレーム、無人搬送車、コンベア、揚重機、ろ過フィルター、環境システム等で構成されており、主としてデジタル機器、自動車・車載部品、半導体及び半導体・液晶製造装置、医療機器、精密機器等を製造する得意先へ販売しております。

当中間期におきましては、生成AI普及に伴うデータセンターの拡張等、中長期的な半導体市場全般での活発な設備投資が見込まれており、特に、高性能半導体（AI半導体）の需要拡大に伴い、半導体製造に関連する得意先向けへのろ過フィルターの販売が、堅調に推移しました。また、米国の関税政策の影響はあるものの自動車・車載部品に関連する一部得意先へのナットランナーの販売は、好調に推移する結果となりました。

以上により産業機器全体の売上高は前年同期を上回る33億75百万円（前年同期比7.5%増）となりました。

